

2-3 調査成績（花き）

花きの部 No.1

項目：品種比較調査

調査名：トルコギキョウの品種比較調査(7~8月出荷) (継続：令和4年度~令和5年度)

1 目的 収益性を見定める花き品目として有望なトルコギキョウについて、7~8月出荷栽培における品種比較調査を行い、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス10号 (99 m² : 約30坪)
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) は種年月日 令和5年3月3日
 - 3) 定植年月日 令和5年4月17日
 - 4) 栽植距離 ベッド幅60cm、株間10cm、条間10cm、4条植え(中2条抜き)
 - 5) 定植株数 2,960本/棟
 - 6) 施肥量 N-P-K-Mg=0.96-0.08-4.40-1.36 kg/a
(基肥) アルガ215 (12-1-5-2) : 8.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 8.0 kg/a
ハイクド40 (Mg:40) : 3.0 kg/a
 - 7) 使用資材 ハイフミンハイブリッドG : 15kg、白黒ダブルマルチ、10cm×6目フラワーネット、メガクール
 - 8) 遮光・遮熱期間 令和5年7月6日~8月17日
 - 9) 収穫時期 令和5年7月24日~8月17日
 - 10) 薬剤散布 25回(成分回数)
 - 11) 保温 内カーテン(令和5年4月17日~5月8日)

(3) 調査区の構成

- 1) 調査区 15区(1区10株、1区制)

2) 供試品種

No.	品種名	早晩性	花径	色	会社名
<1>	レイナ2型ディーブラベンダー	中生	大	紫	(株)サカタのタネ
<2>	ボヤージュ2型ピンクシェイク	中生	大	白桃	(株)サカタのタネ
<3>	プロポーズ3型スノー	中生	大	白	住化農業資材(株)
<4>	セレブ2型ピンクver.2	中生	大	桃	住化農業資材(株)
<5>	レトロア	中生	中大	薄茶	カネコ種苗(株)
<6>	セレブ3型クリスタル	中晩生	大	白	住化農業資材(株)
<7>	セレブ3型リッチホワイト	中晩生	中	白	住化農業資材(株)
<8>	ウェディングキスver.2	中晩生	小	白	住化農業資材(株)
<9>	エレブピンク	中晩生	中大	桃	カネコ種苗(株)
<10>	プリマ3型ロゼ	中晩生	大	桃	タキイ種苗(株)
<11>	プリマ3型ピンク	中晩生	大	薄桃	タキイ種苗(株)
<12>	ジェームス	中晩生	大	薄紫	タキイ種苗(株)
<13>	ミンクメロン	中晩生	中	緑	タキイ種苗(株)
<14>	リホワイト	晩生	大	白	(株)サカタのタネ
<15>	PFダブルスノー	晩生	中	白	(株)サカタのタネ

- (4) 調査項目 開花、切花

3 結果の概要

(1) 生育

春先の気温が例年に比べ高く推移し、地温を確保できたこともあり、生育初期は株張りが良く順調であった半面、開花期まで高温が続いたため、栽培管理が難しい気象条件ではあったものの、積極的な灌水や遮光資材の活用により、切花品質には大きな影響は無かった。

また、病害虫の発生は見られなかった。

(2) 開花

採花時期は、7月24日から8月17日、盛期は7月27日から8月12日となった。開花が最も早かったのは「レイナ2型ディーブラベンダー」、最も遅かったのは「PFダブルスノー」で、概ね早晩性どおりの開花となった。

(3) 切花品質

切花長では、「リオホワイト」が最も長く 88.5 cmであった。

茎径では、「エレスピンク」、が最も太く 7.1mm となった。

開花数と花蕾数の合計は、「ジェームス」以外の品種で 6 個以上となった。

「プロポーズ 3 型スノー」、「レトロア」、「セレブ 3 型リッチホワイト」、「リオホワイト」、「PF ダブルスノー」については、特に草丈伸長が良く、他品種に比べ茎も硬いため首曲がり等も見られなかった。

「エレスピンク」については、草丈 70cm 台後半と比較的長い品種ではないが、茎が太くがっしりした草姿で切花重も他の品種に比べ重かった。

「セレブ 3 型リッチホワイト」、「ウェディングキス ver. 2」については、花の位置の揃いが良いが、「セレブ 3 型クリスタル」についてはボリュームはあるものの、花の位置にばらつきが生じる傾向にある。

「PF ダブルスノー」については、バラ咲で花径はさほど大きくないものの、生育の揃いが良いためロスが少なく、また、無花粉の品種であるため花持ちが良いことや汚れにくいこと等から、昨年度の結果同様、今後安定した需要が期待される品種であると考えられる。

(4) 次年度以降の計画
終了

表 1 採花期

品種名	早晩性	花径	採花期	
			(開始～終了)	(盛期)
<1> レイフ2型デュープレバントナー	中生	大	7/24 ~ 8/ 1	7/27
<2> ホーキーシュエ2型ヒンクシエイク	中生	大	7/26 ~ 8/ 9	8/ 2
<3> プロポーズ3型スノー	中生	大	8/ 1 ~ 8/10	8/ 7
<4> セレブ2型ヒンクver. 2	中生	大	7/27 ~ 8/ 9	8/ 4
<5> レトロア	中生	中大	8/ 2 ~ 8/11	8/ 9
<6> セレブ3型クリスタル	中晩生	大	8/ 1 ~ 8/ 9	8/ 4
<7> セレブ3型リッチホワイト	中晩生	中	8/ 4 ~ 8/11	8/ 8
<8> ウェディングキスver. 2	中晩生	小	8/ 2 ~ 8/14	8/ 8
<9> エレスピンク	中晩生	中大	7/31 ~ 8/ 9	8/ 4
<10> プリマ3型ロゼ	中晩生	大	7/27 ~ 8/11	8/ 7
<11> プリマ3型ヒンク	中晩生	大	7/26 ~ 8/11	8/ 4
<12> ジェームス	中晩生	大	7/28 ~ 8/ 8	8/ 4
<13> ミンクメロン	中晩生	中	7/31 ~ 8/13	8/ 8
<14> リオホワイト	晩生	大	8/ 4 ~ 8/16	8/ 9
<15> PFダブルスノー	晩生	中	8/10 ~ 8/17	8/12

表 2 切花調査

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	節数 (節)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	着蕾側枝数 (本)	開花数 (個)	花蕾数 (個)
<1> レイフ2型デュープレバントナー	71.4	59.5	50.1	8.0	37.0	5.2	2.5	3.4	3.6
<2> ホーキーシュエ2型ヒンクシエイク	80.6	63.8	51.3	8.6	39.3	5.8	3.2	3.4	4.5
<3> プロポーズ3型スノー	86.5	72.8	58.7	8.9	38.8	6.5	3.4	4.1	4.2
<4> セレブ2型ヒンクver. 2	74.7	64.9	50.4	7.0	31.9	5.4	2.2	3.1	4.1
<5> レトロア	86.5	67.3	54.5	8.5	38.7	6.5	2.7	3.5	3.1
<6> セレブ3型クリスタル	83.4	68.5	55.8	8.2	38.8	6.4	2.6	3.4	3.7
<7> セレブ3型リッチホワイト	86.3	75.5	63.8	8.9	42.7	6.7	2.8	3.9	4.2
<8> ウェディングキスver. 2	83.7	70.1	55.2	8.6	39.3	6.7	3.0	4.4	3.4
<9> エレスピンク	75.9	80.8	66.5	8.0	36.4	7.1	2.0	3.2	4.1
<10> プリマ3型ロゼ	78.4	64.4	47.3	8.4	39.2	5.4	3.5	3.7	4.0
<11> プリマ3型ヒンク	80.2	64.4	51.6	8.6	41.2	6.1	2.7	3.0	3.8
<12> ジェームス	75.1	68.1	55.2	8.8	39.2	6.1	2.4	2.6	2.8
<13> ミンクメロン	83.0	75.0	61.9	9.1	41.4	7.0	3.9	5.1	5.0
<14> リオホワイト	88.5	73.5	61.5	9.1	42.2	7.0	3.9	4.0	4.2
<15> PFダブルスノー	87.1	75.5	62.1	9.5	44.1	7.0	2.7	4.2	4.2

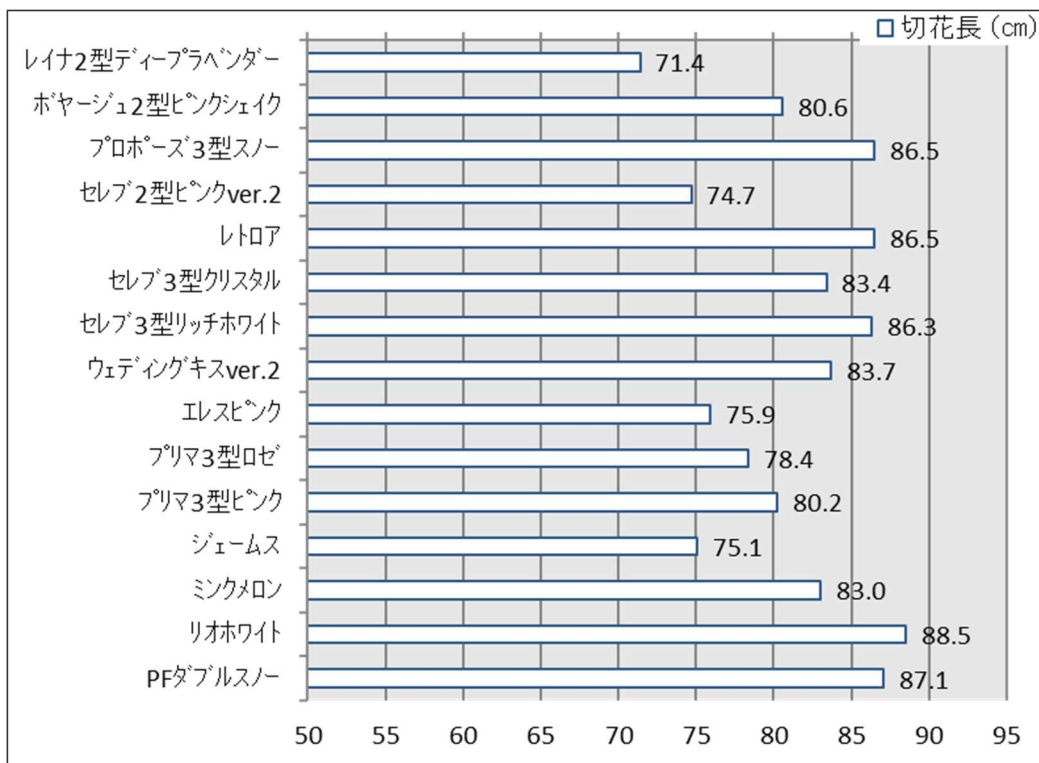


図1 切花長の比較

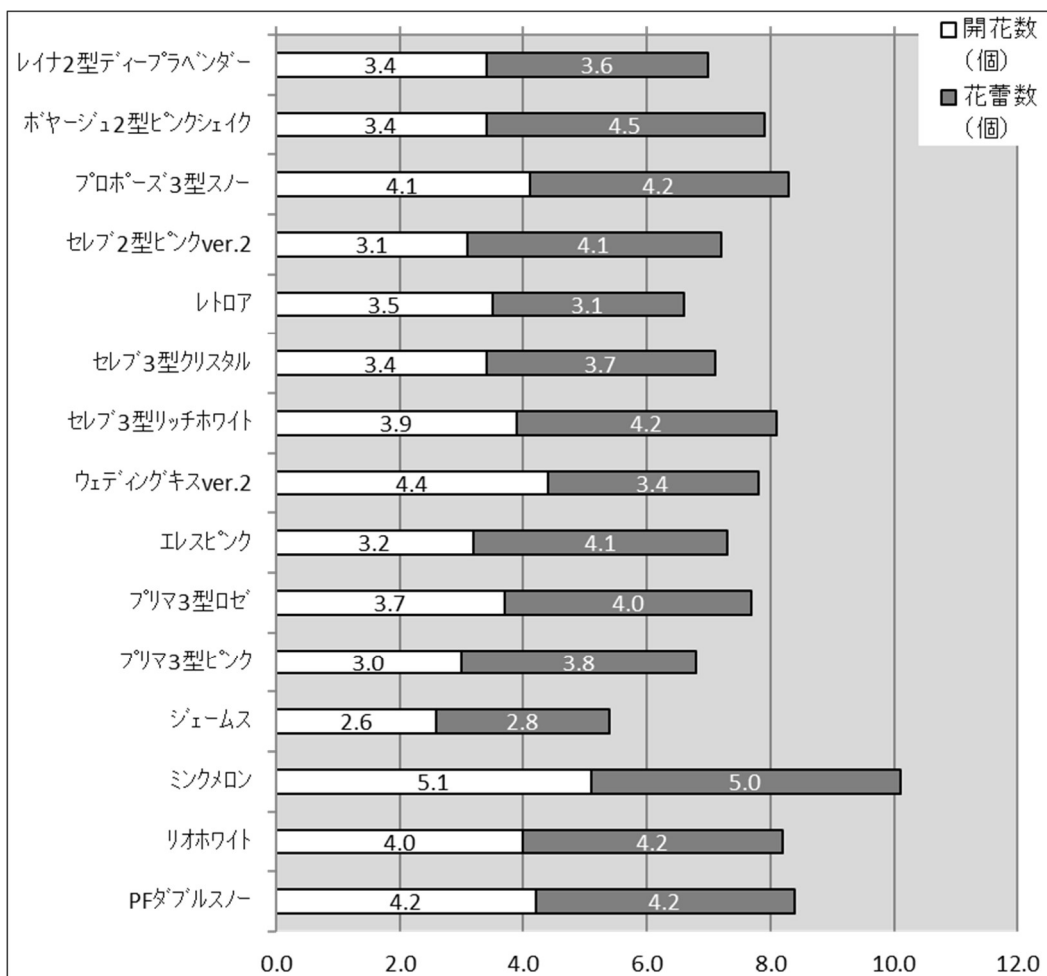


図2 開花数+花蕾数の比較



〈1〉レフ2型
ディープラベンダー



〈2〉ホヤージュ2型
ピンクシェイク



〈3〉フローズン3型スノー



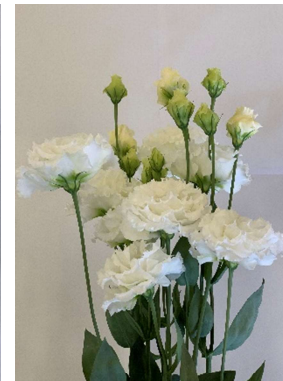
〈4〉セラブ2型ピンク ver.2



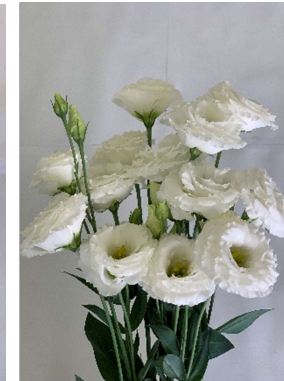
〈5〉レトア



〈6〉セラブ3型クリスタル



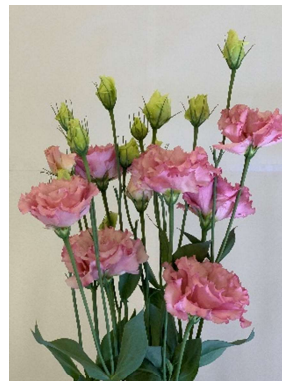
〈7〉セラブ3型リッチホワイト



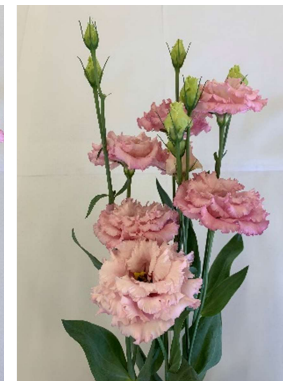
〈8〉ウェディングキス ver.2



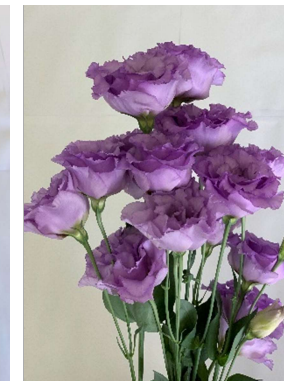
〈9〉エスピック



〈10〉プリマ3型ロゼ



〈11〉プリマ3型ピンク



〈12〉ジェームス



〈13〉ミンクメロン



〈14〉リオホワイト



〈15〉PFダブルスノー

花きの部 No.2

項 目：品種比較調査

調査名：トルコギキョウの品種比較調査(9月出荷) (継続：令和4年度～令和5年度)

- 1 目的 収益性を見込める花き品目として有望なトルコギキョウについて、9月出荷栽培における品種比較調査を行い、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室8号 (165 m² : 約50坪)
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) は種年月日 令和5年3月8日
 - 3) 育苗方法 セルトレイに播種、吸水後、5℃の暗黒下にて約5週間冷蔵処理、その後通常育苗
 - 4) 定植年月日 令和5年5月25日
 - 5) 栽植距離 ベッド幅60cm、株間12cm、条間12cm、4条植え(中1条抜き)
 - 6) 定植株数 3,080本/棟
 - 7) 施肥量 N-P-K-Mg= 1.44-0.12-5.60-2.24 kg/a
(基肥) アルガ215 (12-1-5-2) : 12.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 10.0 kg/a
ハイド (Mg:40) : 5.0 kg/a
 - 8) 使用資材 ハイフミン・ハイブリッドG : 25kg、白黒ダブルマルチ、12cm×5目フラワーネット、メガクール
 - 9) 遮光・遮熱期間 令和5年7月6日～9月13日 (天候に応じて開閉)
 - 10) 収穫時期 令和5年8月22日～9月13日
 - 11) 薬剤散布 16回 (成分回数)

(3) 調査区の構成

- 1) 調査区 11区 (1区10株、1区制)
- 2) 供試品種

No.	品種名	早晩性	花径	色	会社名
<1>	ボヤージュ2型ピンクシェイク	中生	大	白桃	(株)サカタのタネ
<2>	セラブ3型クリスタル	中晩生	大	白	住化農業資材(株)
<3>	セラブ3型リッチホワイト	中晩生	中	白	住化農業資材(株)
<4>	セラブ3型イエロー	中晩生	大	黄	住化農業資材(株)
<5>	エレガンスグリーン	中晩生	大	緑	住化農業資材(株)
<6>	エレスピック	中晩生	中大	桃	カネコ種苗(株)
<7>	エレスライスピック	中晩生	中大	薄桃	カネコ種苗(株)
<8>	プリマ3型イエロー	中晩生	大	黄	タキイ種苗(株)
<9>	プリマ3型ピンク	中晩生	大	薄桃	タキイ種苗(株)
<10>	リホワイト	晩生	大	白	(株)サカタのタネ
<11>	PFダブルスノー	晩生	大	白	(株)サカタのタネ

- (4) 調査項目 開花、切花

3 結果の概要

(1) 生育

生育期間を通し総じて気温が高く推移したことにより、ロゼット等の症状は見られなかったものの、生育状況、開花時期ともに大幅に前進する結果となった。

また、遮光資材は活用したものの、高温により短径開花してしまう品種がほとんどで、十分な草丈が確保できなかった。

病害虫の発生は見られなかった。

(2) 開花

採花時期は、8月22日から9月13日、盛期は8月26日から9月8日でいずれも秋彼岸の需要期より早い結果となった。

(3) 切花品質

切花長では、「PF ダブルスノー」で最も長く 79.2 cmであった。
茎径では、「リオホワイト」、「PF ダブルスノー」が同値で最も太く 6.6mm となった。

開花数と花蕾数の合計は、全ての品種で 6 個以上となり、「PF ダブルスノー」で最も多く 7.9 個となった。

高温期が長期間を占める本作型では、高温が開花期及び切花品質に大きな影響を及ぼし、早晩性の面で収穫の早い品種がより顕著であった。また昨今の気象条件を考えると、今後、早生から中生の品種では短茎開花・早期開花の面で栽培が難しくなってくることも懸念される。

高温対策の検討と合わせて、品種選定の際には、主に中晩生から晩生を基準とし、また、中生でも樹勢や高温耐性等の品種特性を考慮して品種選定を行うことが重要である。

(4) 次年度以降の計画

完了

表 1 採花期

品種名	早晩性	花径	採花期	
			(開始～終了)	(盛期)
<1> ホヤージュ2型ピンクシェイク	中生	大	8/22 ~ 8/29	8/26
<2> セラブ3型クリスタル	中晩生	大	8/25 ~ 9/ 2	8/30
<3> セラブ3型リッチホワイト	中晩生	中	8/25 ~ 9/ 2	8/30
<4> セラブ3型イエロー	中晩生	大	8/24 ~ 9/ 3	8/30
<5> エレガンスグリーン	中晩生	大	8/26 ~ 9/ 5	9/ 2
<6> エレスピンク	中晩生	中大	8/24 ~ 9/ 3	8/28
<7> エレスライトピンク	中晩生	中大	8/25 ~ 9/ 3	8/28
<8> プリマ3型イエロー	中晩生	大	8/25 ~ 9/ 5	8/29
<9> プリマ3型ピンク	中晩生	大	8/27 ~ 9/ 8	9/ 3
<10> リオホワイト	晩生	大	8/31 ~ 9/13	9/ 8
<11> PFダブルスノー	晩生	大	8/30 ~ 9/11	9/ 8

表 2 切花調査

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	節数 (節)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	着蕾側枝数 (本)	開花数 (個)	花蕾数 (個)
<1> ホヤージュ2型ピンクシェイク	78.4	61.1	48.7	7.8	38.3	5.9	2.7	3.8	3.7
<2> セラブ3型クリスタル	73.8	58.9	47.1	7.2	37.3	5.7	2.8	3.3	3.6
<3> セラブ3型リッチホワイト	76.0	59.2	48.0	7.4	37.2	5.7	2.6	3.0	3.6
<4> セラブ3型イエロー	70.9	57.2	45.0	7.1	35.3	5.2	2.5	3.2	3.4
<5> エレガンスグリーン	70.4	62.7	51.7	7.5	33.9	6.0	2.9	3.2	3.1
<6> エレスピンク	68.2	65.5	52.0	6.9	34.5	6.2	3.0	3.3	2.7
<7> エレスライトピンク	71.9	69.3	52.4	6.8	36.9	6.3	3.0	3.7	2.9
<8> プリマ3型イエロー	69.7	58.1	45.3	7.2	35.8	5.6	2.7	3.3	3.3
<9> プリマ3型ピンク	67.0	52.4	43.1	7.1	33.3	5.2	2.2	3.0	3.6
<10> リオホワイト	78.0	64.6	51.1	7.3	35.9	6.6	2.8	3.3	3.1
<11> PFダブルスノー	79.2	66.7	53.4	7.7	38.0	6.6	2.8	4.2	3.7

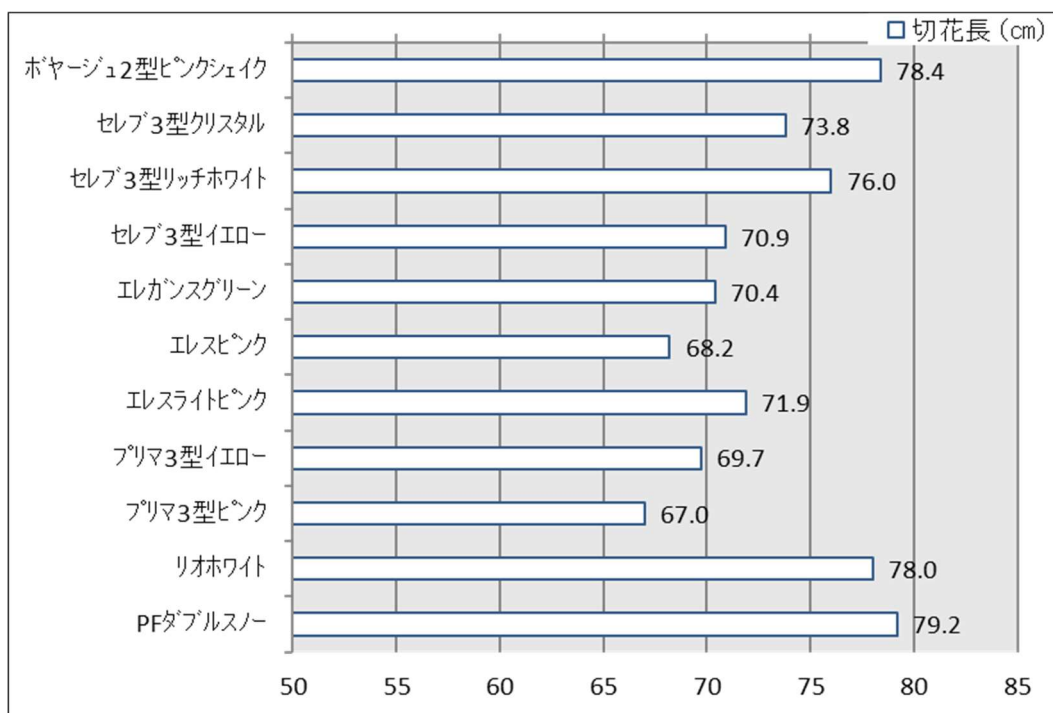


図1 切花長の比較

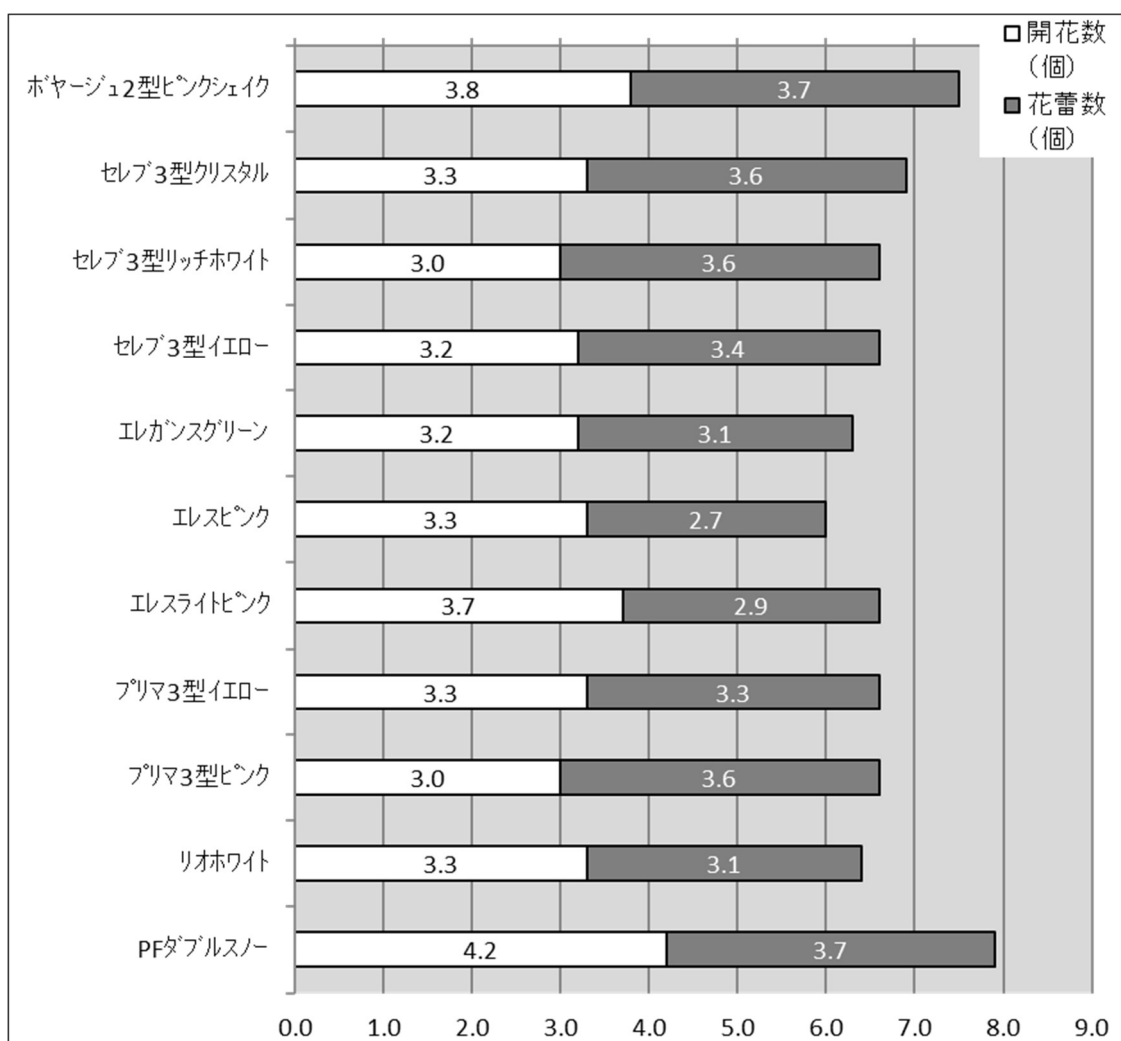


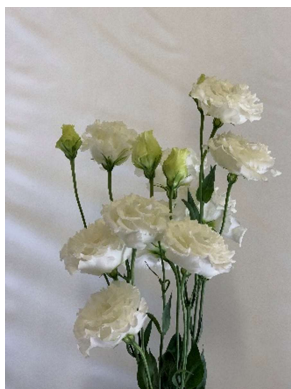
図2 開花数+花蕾数の比較



〈1〉ホージャュ2型
ピンクシェイク



〈2〉セラブ 3型クリスタル



〈3〉セラブ 3型リッチホワイト



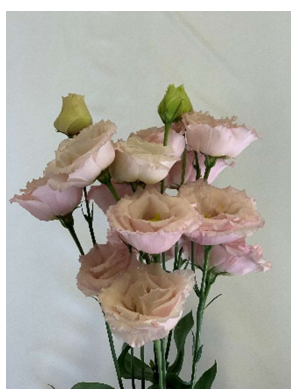
〈4〉セラブ 3型イエロー



〈5〉エレガンスグリーン



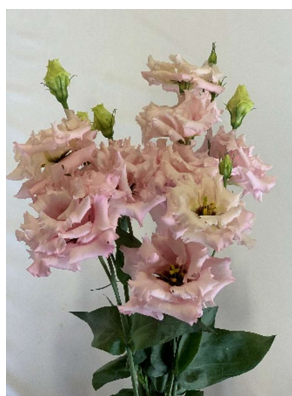
〈6〉エレスピンク



〈7〉エスライトピンク



〈8〉プリマ3型イエロー



〈9〉プリマ3型ピンク



〈10〉リホワイト



〈11〉PFダブルスノー

花きの部 No.3

項 目：栽培技術調査

調査名：トルコギキョウの赤色 LED 電照栽培技術調査(9月出荷) (新規：令和5年度～令和6年度)

- 1 目的 トルコギキョウの赤色 LED 電照処理により開花抑制が可能とされていることから、当地域における実用性について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室8号 (165 m²：約50坪)
- (2) 耕種概要
- 栽培方法 土耕栽培
 - は種年月日 令和5年3月8日
 - 育苗方法 セルトレイに播種、吸水後、5℃の暗黒下にて約5週間冷蔵処理、その後通常育苗
 - 定植年月日 令和5年5月25日
 - 栽植距離 ベッド幅60cm、株間12cm、条間12cm、4条植え(中1条抜き)
 - 定植株数 3,080本/棟
 - 施肥量 N-P-K-Mg= 1.44-0.12-5.60-2.24 kg/a
(基肥) アルガ215 (12-1-5-2) : 12.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 10.0 kg/a
ハイクド (Mg:40) : 5.0 kg/a
 - 使用資材 ハイフミン・ハイブリッドG : 25kg、白黒ダブルマルチ、12cm×5目フラワーネット、メガクール、
 - 電照期間 赤色LEDライト (620nm～630nm)
調査区① 無電照
調査区② 令和5年5月25日～9月19日
※16:00～8:00 16時間電照
 - 収穫時期 令和5年8月22日～9月19日
 - 薬剤散布 16回(成分回数)

(3) 調査区の構成

No.	品種名	早晩性	花径	花色	会社名
<1>	ホヤージュ2型ピンクシェイク	中生	大	白桃	(株)サカタのタネ
<2>	セラブ3型クリスタル	中晩生	大	白	住化農業資材(株)
<3>	セラブ3型イエロー	中晩生	大	黄	住化農業資材(株)
<4>	エレスピノク	中晩生	中大	桃	カネコ種苗(株)
<5>	プリマ3型ピンク	中晩生	大	薄桃	タキイ種苗(株)
<6>	リオホワイト	晩生	大	白	(株)サカタのタネ
<7>	PFダブルスノー	晩生	大	白	(株)サカタのタネ

- (4) 調査項目 開花、切花

3 結果の概要

(1) 生育

9月出荷作型の品種比較調査結果と同様に、定植時期から開花時期まで総じて気温が高く推移したことにより、ロゼット等の症状は見られなかったものの、生育状況、開花時期ともに大幅に前進する結果となった。

また、遮光資材は活用したものの、高温により短径開花してしまう品種がほとんどで、十分な草丈が確保できなかった。

病害虫の発生は見られなかった。

(2) 開花

採花時期は、8月22日から9月19日、盛期は8月26日から9月14日となった。いずれの品種においても赤色LED電照区の開花が遅く、最大で10日程度の差が見られた。

- (3) 切花品質
切花長では、全ての品種で赤色 LED 電照区が無電照区に比べ長い結果となり、「プリマ3型ピンク」では最も差が大きく、約 12 cmの差が確認された。
茎径、開花数及び花蕾数の合計等についても同様に赤色 LED 電照区が優れた結果となった。
- (4) その他
開花時期については、赤色 LED 電照区が総じて遅く、開花抑制効果が確認され、また、切花品質においても、各項目で概ね赤色 LED 電照区が優れた結果となり、切花品質向上も期待できる結果となった。
なお、開花抑制・切花品質向上効果は晩生の品種ほどより効果が高い傾向にあり、同じ早晩性の間でも品種により効果の差が確認されたことから、赤色 LED 電照の有効性と合わせて品種ごとの適性についても調査を継続していきたい。
- (5) 次年度以降の計画
継続

表 1 採花期

品種名	電照	採花期	
		(開始～終了)	(盛期)
<1> ホヤージュ2型ピンクシェイク	無電照	8/22 ~ 8/29	8/26
	赤色LED	8/27 ~ 9/ 5	9/ 2
<2> セレブ3型クリスタル	無電照	8/25 ~ 9/ 2	8/30
	赤色LED	8/27 ~ 9/ 6	9/ 3
<3> セレブ3型イエロー	無電照	8/24 ~ 9/ 3	8/30
	赤色LED	8/26 ~ 9/ 4	8/30
<4> エレスピンク	無電照	8/24 ~ 9/ 3	8/28
	赤色LED	8/29 ~ 9/ 7	9/ 4
<5> プリマ3型ピンク	無電照	8/27 ~ 9/ 8	9/ 3
	赤色LED	9/ 5 ~ 9/17	9/12
<6> リホホワイト	無電照	8/31 ~ 9/13	9/ 8
	赤色LED	9/ 6 ~ 9/16	9/12
<7> PFタブルスノー	無電照	8/30 ~ 9/11	9/ 8
	赤色LED	9/ 9 ~ 9/19	9/14

表 2 切花調査

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	節数 (節)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	着蕾側枝数 (本)	開花数 (個)	花蕾数 (個)
<1> ホヤージュ2型ピンクシェイク	78.4	61.1	48.7	7.8	38.3	5.9	2.7	3.8	3.7
	電照区	83.9	65.0	53.3	8.2	41.4	6.0	2.9	4.0
<2> セレブ3型クリスタル	73.8	58.9	47.1	7.2	37.3	5.7	2.8	3.3	3.6
	電照区	79.0	59.7	48.4	7.1	37.3	5.8	2.9	3.3
<3> セレブ3型イエロー	70.9	57.2	45.0	7.1	35.3	5.2	2.5	3.2	3.4
	電照区	72.2	59.0	47.4	7.2	35.5	5.8	2.7	3.7
<4> エレスピンク	68.2	65.5	52.0	6.9	34.5	6.2	3.0	3.3	2.7
	電照区	75.4	71.4	58.0	7.3	39.5	6.6	3.1	3.4
<5> プリマ3型ピンク	67.0	52.4	43.1	7.1	33.3	5.2	2.2	3.0	3.6
	電照区	79.6	70.4	55.7	7.7	40.2	6.1	3.0	3.4
<6> リホホワイト	78.0	64.6	51.1	7.3	35.9	6.6	2.8	3.3	3.1
	電照区	83.3	69.8	55.9	7.9	40.8	6.7	2.7	3.7
<7> PFタブルスノー	79.2	66.7	53.4	7.7	38.0	6.6	2.8	4.2	3.7
	電照区	87.0	73.4	59.8	8.2	41.3	6.8	2.9	3.9

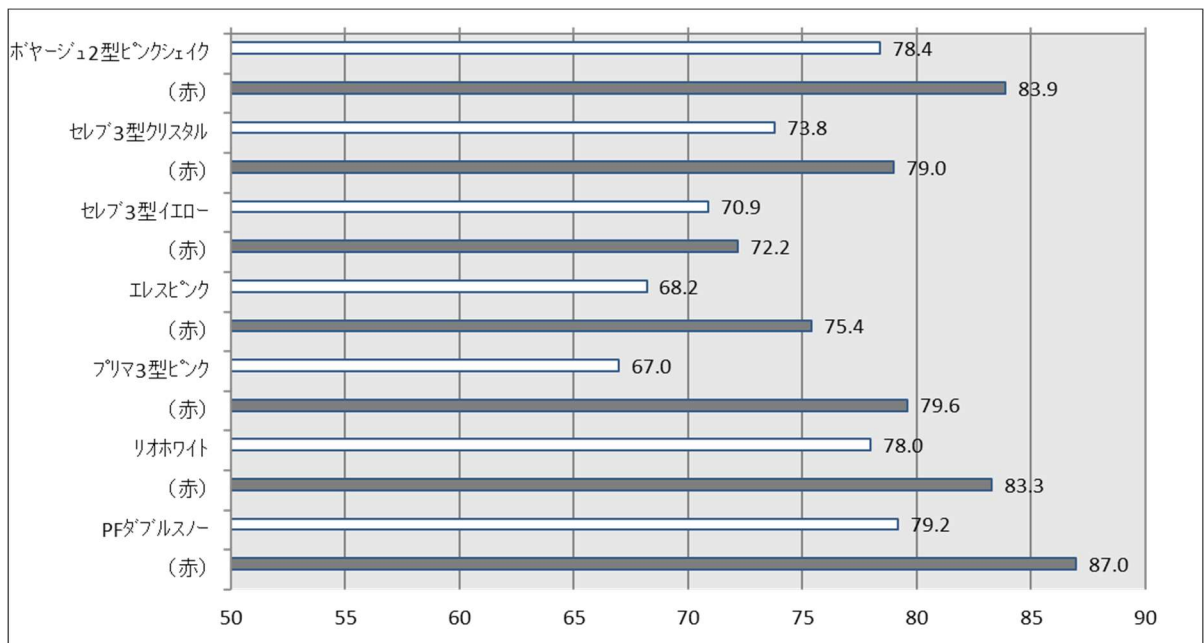


図1 切花長の比較 (cm)

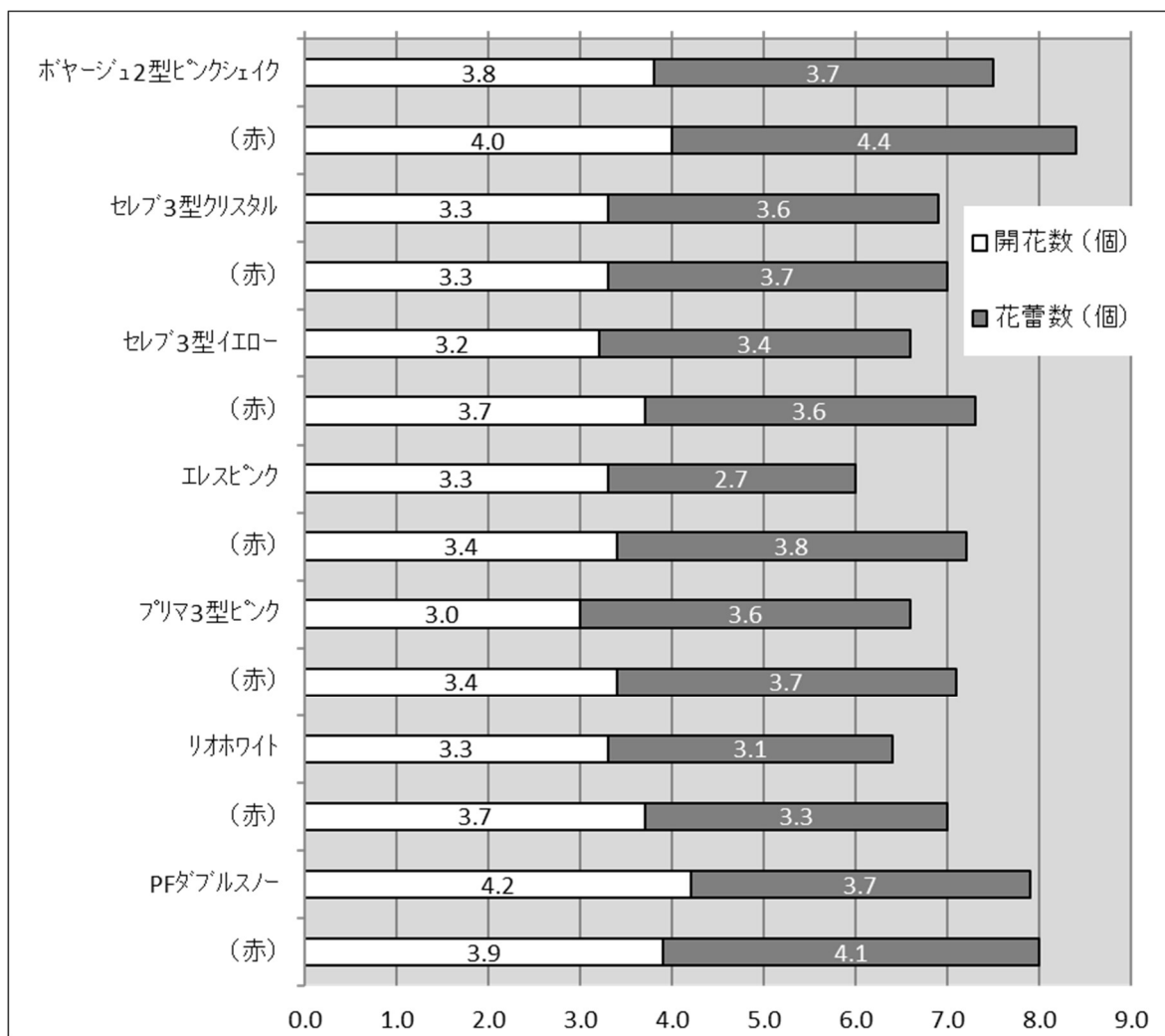


図2 開花数+花蕾数の比較



〈1〉 ボヤージュ 2 型ピンクシェイク



〈2〉 セレブ 3 型クリスタル



〈3〉 セレブ 3 型イエロー



〈4〉 エレスピンク



〈5〉 プリマ 3 型ピンク



〈6〉 リオホワイト



〈7〉 PF ダブルスノー

(左 : 赤色 LED 電照区 右 : 無電照区)

花きの部 No.4

項 目：栽培技術調査

調査名：カンパニユラの赤色LED電照栽培技術調査（継続：令和2年度～令和6年度）

1 目的 カンパニユラの赤色LED電照処理により開花促進が可能とされていることから、当地域における実用性について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス9号 (99 m²：約30坪)
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) は種年月日 令和4年11月4日
 - 3) 定植年月日 令和4年12月16日
 - 4) 仕立て法 調査区②令和5年2月9日に摘心
調査区①、③、④令和5年3月2日に摘心
 - 5) 栽植距離 ベッド幅60cm、株間20cm、条間40cm、2条植え(中1条抜き)
 - 6) 定植株数 540株/棟
 - 7) 施肥量 N-P-K-Mg=0.60-0.05-1.75-0.10 kg/a
(基肥) アルガ215 (12-1-5-2) : 5.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 3.0 kg/a
 - 8) 使用資材 バイオ21、黒マルチ、赤色LEDライト (620nm～630nm)、
20cm×3目フラワーネット
 - 9) 電照期間 調査区① 無電照
調査区② 令和4年12月16日(定植後)～
令和5年4月17日(収穫終了日)
調査区③ 令和5年3月2日(摘心後)～
令和5年5月15日(収穫終了日)
調査区④ 令和5年4月1日～
令和5年5月19日(収穫終了日)
※いずれも22:00～2:00(暗期中断)
 - 10) 収穫時期 令和5年4月3日～6月6日
 - 11) 保温 内カーテン(令和4年12月16日～令和5年4月14日)
パスライトトンネル(令和5年1月9日～令和5年3月17日)
 - 12) 薬剤散布 9回(成分回数)
- (3) 調査区の構成
- 1) 調査区 16区(1区5株、1区制)
 - 2) 供試品種
- | No. | 品種名 | 花色 | 会社名 |
|-----|-----------------|----|-----------|
| <1> | チャンピオンIQローズ | 桃 | (株)サカタのタネ |
| <2> | チャンピオンIQホワイト | 白 | (株)サカタのタネ |
| <3> | チャンピオンIQディープブルー | 濃紫 | (株)サカタのタネ |
| <4> | チャンピオンスカイブルー | 青紫 | (株)サカタのタネ |
- (4) 調査項目 開花、切花

3 結果の概要

- (1) 昨年度の結果
全品種で、電照を開始した順に伴い開花時期も早まった。切花品質においては無電照区が最も優れた結果となった。
- (2) 本年度の結果
- 1) 生育
定植時期が遅れたことから十分な株張ができず、全体的にコンパクトな草姿となったものの概ね順調な生育であった。
生育期後半の灌水を控えめにしたことにより、茎が硬く仕上がり首曲がりは見られなかったが、一部で茎の空洞化の症状が見られた。
栽培期間中の生育調査では、いずれの時点においても調査区②の生育が早く、電照開始が早いほど生育も早くなる傾向が確認された。

- 2) 開花
開花は、調査区②のチャンピオン IQ ホワイトが最も早く、採花時期は4月3日～4月14日、盛期は4月12日となった。
また、いずれの品種においても調査区②の採花時期が早く、調査区①が最も遅い結果となり、電照開始時期に関わらず赤色 LED による開花促進効果が認められた。
- (3) 切花品質
切花長では、全ての品種で調査区①が 80cm を超え、かつ、最も長い結果となった。
切花重では、全品種で調査区①が重かった。
茎径では、全品種で調査区①が太かった。
花径では、調査区による大きな差は見られなかった。
- (4) 考察
採花時期については調査区②が総じて早い結果となったが、切花品質においては無電照の調査区①が優れていた。
昨年度に引き続き、今回の試験でも他品種に比べ草勢が強いチャンピオンシリーズに限定した品種構成で試験を行ったが、昨年度より切花品質が劣る結果となった。要因としては定植時期の遅れが考えられ、開花促進及び切花品質向上には株張の充実が必要であると考察できる。また、調査区ごとの花径の差はほぼ見られなかったことから、電照による花の大きさ等への影響は無いことが確認された。
電照開始時期が早いほど開花は早まるものの、切花品質が劣る傾向は変わらないことから、電照開始時期や定植時期等について、開花促進しつつ切花品質も向上できるように今後も引き続き検討していきたい。
- (5) 次年度以降の計画
継続

表1 採花期

品種名	調査区	採花期	
		(開始～終了)	(盛期)
チャンピオンIQローズ	調査区①	5/28～6/6	6/1
	調査区②	4/7～4/17	4/14
	調査区③	5/1～5/15	5/12
	調査区④	5/12～5/19	5/17
チャンピオンIQホワイト	調査区①	5/22～5/31	5/27
	調査区②	4/3～4/14	4/12
	調査区③	4/28～5/12	5/10
	調査区④	5/4～5/17	5/15
チャンピオンIQディープブルー	調査区①	5/27～6/4	6/2
	調査区②	4/6～4/17	4/14
	調査区③	4/24～5/8	5/6
	調査区④	5/9～5/17	5/12
チャンピオンスカイブルー	調査区①	5/1～5/18	5/15
	調査区②	4/6～4/17	4/12
	調査区③	4/21～5/5	5/3
	調査区④	5/3～5/12	5/8

表2 切花調査

品種名	電照	切花長 (cm)	切花重 (g)	花穂長 (cm)	茎径 (mm)	葉数 (枚)	花蕾数 (個)	花径 (cm)
チャンピオンIQローズ	調査区①	93.9	68.9	46.8	7.2	21.3	16.7	5.1
	調査区②	63.4	47.3	40.5	6.3	12.3	11.3	4.8
	調査区③	66.8	44.7	43.8	6.5	10.7	12.5	4.8
	調査区④	83.8	67.2	45.5	7.1	19.3	16.0	5.2
チャンピオンIQホワイト	調査区①	84.7	77.8	43.6	7.7	22.0	17.3	4.9
	調査区②	71.0	53.1	41.4	6.1	14.2	12.6	4.8
	調査区③	77.7	49.7	48.2	6.8	12.5	13.0	4.9
	調査区④	82.9	73.2	45.1	7.2	19.9	17.6	5.1
チャンピオンIQディープブルー	調査区①	80.3	63.2	48.3	7.6	27.5	16.9	5.2
	調査区②	66.1	58.4	43.5	7.0	13.9	12.7	4.7
	調査区③	70.3	47.0	47.4	6.6	12.1	10.9	4.9
	調査区④	79.2	56.9	48.4	7.1	21.9	17.9	5.2
チャンピオンスカイブルー	調査区①	88.1	75.2	46.7	8.4	30.2	17.6	5.1
	調査区②	68.9	58.5	38.1	6.9	16.8	17.3	4.9
	調査区③	71.3	47.2	47.1	6.7	13.2	11.9	4.9
	調査区④	86.5	73.5	48.1	7.7	21.0	18.0	5.0

花きの部 No.5

項 目：品種比較調査

調査名：デイスバッドマムの品種比較調査(11月出荷) (新規：令和5年度～令和6年度)

- 1 目的 今後、当地域の有望花き品目として期待されるデイスバッドマムについて、11月出荷作型における栽培技術及び品種比較調査を行い、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス8号 (99㎡：約30坪)
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) 定植年月日 令和5年9月8日(直挿し)
 - 3) 栽植距離 ベッド幅50cm、株間10cm、条間10cm、5条植え
 - 4) 定植株数 3,400本/棟
 - 5) わい化剤処理 令和5年11月13日 ビーナイン顆粒水溶剤1,000倍散布
 - 6) 施肥量 N-P-K-Mg=1.44-0.12-0.60-0.24 kg/a
(基肥) アルガ215 (12-1-5-2) : 12.0 kg/a
 - 7) 使用資材 10cm×5目フラワーネット、黒マルチ
 - 8) 電照期間 令和5年9月8日～10月4日 22:00～3:00 (暗期中断)
 - 10) 収穫時期 令和5年11月25日～令和6年1月29日
 - 11) 保温 令和5年10月18日～令和6年1月29日
 - 12) 加温 温風暖房機 (5℃設定)
令和5年12月15日～令和6年1月29日
- 13) 薬剤散布 39回 (成分回数)

(3) 調査区の構成

- 1) 調査区 16区 (1区10株、1区制)
- 2) 供試品種

No.	品種名	花色	会社名
<1>	カンパーナ	イエロー	(株)デリフロールジヤパン
<2>	キャンティ	レッド	(株)デリフロールジヤパン
<3>	クシーノ	サーモン	(株)デリフロールジヤパン
<4>	クチュール	ピンク	(株)デリフロールジヤパン
<5>	シャボンレッド	レッド	(株)デリフロールジヤパン
<6>	スクーター	グリーン	(株)デリフロールジヤパン
<7>	バルタザールキャンドル	イエロー/レッド	(株)デリフロールジヤパン
<8>	バルタザールフロスティ	ホワイト	(株)デリフロールジヤパン
<9>	フェゴダーク	レッド/イエロー	(株)デリフロールジヤパン
<10>	フォーキャスト	ダークピンク	(株)デリフロールジヤパン
<11>	ブレイク	ピンク	(株)デリフロールジヤパン
<12>	ラスター	イエロー	(株)デリフロールジヤパン
<13>	ララバイ	ライトピンク	(株)デリフロールジヤパン
<14>	ランタン	ホワイト/グリーン	(株)デリフロールジヤパン
<15>	レドニック	ホワイト	(株)デリフロールジヤパン
<16>	ロッツォ	パープル	(株)デリフロールジヤパン

- (4) 調査項目 開花、切花

3 結果の概要

(1) 生育

全品種において病害虫の発生は見られず概ね順調な生育であったものの、定植時期が暑かったこともあり活着が悪く、特に「フェゴダーク」においては枯死した株も散見された。

11月6日から、順次脇芽欠きを行った。「クシーノ」、「バルタザールキャンドル」、「ランタン」、「レドニック」は他の品種に比べ脇芽の発生が多い傾向にあった。

(2) 開花

採花時期は、11月25日から1月29日、採花の盛期は12月4日から1月23日と品種により大きな差が見られた。

- (3) 切花品質
 切花長では、「レドニック」で最も長く 116.9cm、「フェゴダーク」で最も短く 86.2cm となった。
 切花重では、「フォーキャスト」で最も重く 128.1g となった。
 花首長では、「ラスター」が最も短く 1.8 cm となった。
 茎径では、「フェゴダーク」で最も太く 9.9mm となった。
 「カンパーナ」、「キャンティ」、「ブレイク」、「レドニック」は生育の揃いが良く切花品質が安定していた。
 「クチュール」、「フォーキャスト」、「レドニック」は特に生育が旺盛で、茎径と切花重も十分であった。
 耐寒性について、低温障害の影響は全体で見ると少なかったものの、「ランタン」においては花径が小さく、花弁の縁にも変色が見られ、開花できない株も散見された。また、「クシーノ」は花弁の発色の悪さ、「スケーター」は奇形花の発生が若干数確認された。
 「ララバイ」は生育中期頃から葉縁の黄化が見られ、他の品種には同様の症状が確認できなかったため原因は判然としないものの、生育環境に影響を受けやすい傾向がある品種と考えられる。
- (4) その他
 定植時期の暑さから活着が悪い品種があったため、本作型では株の状態を見て遮光や多めの灌水等の対策が必要である。
 当初は無加温での栽培を計画していたが、予想時期より開花が遅れたこと、12月中旬から気温が下がり一部で凍害が散見されたことから、12月15日から5℃設定で加温を実施した。次年度の調査では、定植時期と電照終了時期を早めて調査計画を検討したい。
- (5) 次年度以降の計画
 継続

表1 採花期

	品種名	採花期		
		(開始～終了)	(盛期)	
<1>	カンパーナ	11/25～	12/ 7	12/ 4
<2>	キャンティ	11/29～	12/ 7	12/ 4
<3>	クシーノ	12/ 6～	12/14	12/ 8
<4>	クチュール	12/18～	12/28	12/25
<5>	シャボンレット	12/ 4～	12/14	12/ 8
<6>	スケーター	12/18～	12/28	12/25
<7>	バルタサルキヤントル	12/22～	1/ 5	12/28
<8>	バルタサルフロステイ	12/25～	1/ 8	1/ 3
<9>	フェゴダーク	1/10～	1/19	1/12
<10>	フォーキャスト	12/18～	12/28	12/22
<11>	ブレイク	12/11～	12/22	12/14
<12>	ラスター	12/15～	12/25	12/22
<13>	ララバイ	12/20～	1/ 5	12/27
<14>	ランタン	1/19～	1/29	1/23
<15>	レドニック	12/24～	1/10	12/29
<16>	ロツォ	12/26～	1/12	1/ 8

表2 切花調査

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	花首長 (cm)	茎径 (mm)	花径 (cm)
<1> カンパーナ	103.4	73.8	4.4	8.2	9.0
<2> キャンティ	107.2	86.7	3.9	8.3	7.7
<3> クシーノ	106.5	102.4	4.3	8.8	10.6
<4> クチュール	112.0	115.2	3.8	8.8	13.1
<5> シャボンレット	90.9	67.2	6.1	7.9	8.3
<6> スケート	100.2	119.3	2.7	8.3	11.1
<7> ハルタサールキャントール	112.1	73.3	2.8	7.9	10.9
<8> ハルタサールフロステイ	107.2	63.5	2.0	7.4	9.0
<9> フェコターク	86.2	102.6	2.2	9.9	8.9
<10> フォーキャスト	115.4	128.1	2.1	8.6	14.8
<11> ブレイク	96.1	61.9	3.4	7.2	5.9
<12> ラスター	109.0	76.9	1.8	7.7	5.7
<13> ララハイ	101.3	74.9	3.2	7.1	10.3
<14> ランタン	104.4	75.3	3.3	8.2	2.6
<15> レトニック	116.9	111.9	4.1	8.3	9.8
<16> ロッツォ	108.6	97.0	3.8	8.1	9.9



〈1〉カンパナ



〈2〉キャンティ



〈3〉クシーノ



〈4〉クチュール



〈5〉シャボンレット



〈6〉スケーター



〈7〉バルタザールキャントール



〈8〉バルタザールフロスティ



〈9〉フェコターク



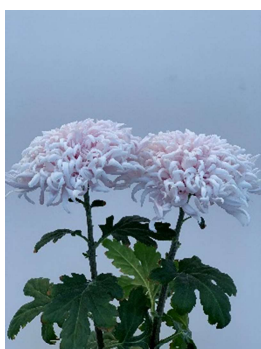
〈10〉フォーキャスト



〈11〉ブレイク



〈12〉ラストー



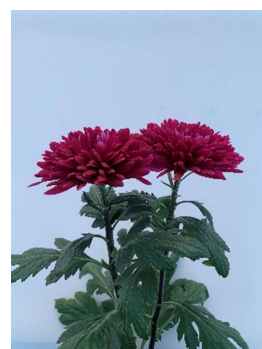
〈13〉ララバイ



〈14〉ランタン



〈15〉レトニック



〈16〉ロツォ